



各務原市の  
温泉パッカー  
村瀬 秀仁さん

引きこもり生活から世界一周へ

# 旅で得た自信と成長

各務原市に秘境の温泉を求めて世界を旅する若者がいる。  
その名も温泉パッカー、村瀬秀仁さん。

昨年12月には「世界の魅力を伝えるコンテストWORLD」で  
最優秀賞を受賞して、大きな注目を集めている。  
旅に自覚めたきつかけや海外での思い出、  
旅をすることの魅力などを語ってもらった。

profile  
村瀬 秀仁  
Hidetaka Murase  
平成4年生まれ、各務原市出身。高校時代から理学科  
次生にあり、中部大学の理学科に進学。卒業後、理学科を  
卒業し、理学科を経て世界一周の旅に出た。「世界の  
魅力を伝えるコンテストWORLD」の最優秀賞受賞者。横を  
対り上げた髪型がトレードマークで、海外では「サムライ」と  
呼ばれることも多いとか

世界一周へ踏み出す前に  
引きこもり生活を経験

平成4（1992）年に各務原市で生まれ、11月で28歳になる村瀬秀仁さん。旅に興味を持ったのは、小学生のときに出会った1人の教師がきっかけだ。

「若い頃はパッカーで、教師としてもブラジルで3年間教鞭をとった経験のある方でした」と村瀬さん。その教師から海外の思い出を聞いたり、たくさん資料や写真を見せてもらったりした体験が、今でも強烈な印象として残っているという。

最初の本格的な旅は、理学療法士を目指して中部大学に通っていた頃。車で日本一周の旅を経験した。卒業後は病院で働き、休日に母校の高校でサッカーコーチをしながら、長期休暇の度に国内や海外を旅行。理学療法士になる夢をかなえ、充実した日々を送っていたが、どうしてもあきらめきれないもう一つの夢があった。パッカー旅行で、世界一周の旅に出ることだ。

「この地球には、たくさんの知らない世界が広がっている。そう考えると、いてもたってもいられなくなり、どうしよう仕事をやめる決心をしたんです」。しかし病院を退職し、旅の準備まで済ませたものの、なぜか最初の一步が踏み出せない。「来週には行こう」「来月こそは」と先延ばしを繰り返しているうちに、結局は1年間も引きこもり生活を送ることになった。

「パッカーの旅は、短期間のツアー旅行などと同じ、行ってみるまでどうなるかわからない。今から思えば、伝えるコンテストWORLD」という大会があると知り、自分の体験を多くの人にシェアしようと思募したことが、次の転機につながった。

昨年12月、最終審査に残ったという連絡があり、急遽一時帰国。最後のプレゼン審査を勝ち上がって、中部・近畿・四国ブロックの最優秀賞に輝いた。そして今年2月には、大阪で開催された「パッカーフェスタ2020」に参加。最優秀賞受賞者として、約2千人の観衆を前にスピーチを行った。「引きこもりだった自分でも、勇気を出して海外を旅したことで、人生を大きく変えられた」と村瀬さん。「これからは自分が恩師からしてもらったように、悩んでいる人達に迷っている人の背中を押してあげられる存在になりたい」と強い意気込みを語ってくれた。

すでに夏には、名古屋にある専門学校の間際エアライン科で特別講師を経験。各務原市からも「学校に行けない子どもたちのサポートをしてくれたい」。

そうした不安や恐怖で動けなくなっていたのだと思います」

そんな村瀬さんを、最初旅の魅力を教わった小学校時代の恩師が救ってくれた。「会いに行つて悩みを打ち明けたら、行つてこいよ」といつてくれました。なんでもない一言だったのですが、なぜか「よし、行こう」と腹をくくれたんです」。

恩師以外にも、両親や兄、病院時代の元同僚など、周囲からのさまざまな応援もあった。出発は昨年4月。たくさんの人に背中を押してもらい、いよいよ世界一周の旅が始まった。

自力で辿り着けた自信が達成感や成長につながる



上) ミャンマー寺院の前に湧く温泉で、現地の若者たちと意気投合  
右) ミャンマーで宿のスタッフと仲良く、一緒にトレッキングを行った



と相談が寄せられている。現在は、新型コロナウイルス感染症の拡大が落ち着く時期を待っているところ。出国可能な状況が整い次第、すぐにも旅立するように準備を進めているという。

「今後も世界中の温泉をまわりたいから、さまざまな国の人たちと交流する楽しさや、自分を信じて自由に生きるこの素晴らしさを伝えていきたいと思っています」



言葉が通じないことも多く、旅にはたくさんの困難が訪れる。だからこそ、辿り着いたときの喜びは格別。そうした小さな成功体験の積み重ねが、自分に自信を持つことにつながっていく

しかし、だからこそ辿り着いたときの感動や達成感が大きいのだという。「身振りで必死に意思を伝える、自力で行き方を調べ、心身ともにへとへとになりながら、なんとお湯に浸かれた。そういう経験を繰り返して、少しずつ自分に自信が持てるようになっていくんです」

日本最大級の旅イベントで見事に最優秀賞を受賞

数々の体験を通して、旅の醍醐味や自信を持つ喜びを知った村瀬さん。インド滞在中に、日本で「世界の魅力を

村瀬さんに聞きました  
もっとも思い出に残っている温泉は？

海外編(インド)  
マニカラン温泉  
「インド北部のパーヴァティ渓谷にあり、辿り着くのは大変ですが、その分だけ喜びも大きいです。しかも温泉は、ヒンドゥー教寺院に隣接。お経が聞こえたり、夜にはライトアップされた寺院が見られたり、独特の雰囲気を感じました」



国内編(大分県)  
へびん湯  
「大分県別府市には三大種湯といわれるものがあり、その中でもっとも奥地にあるのが、この温泉です。無料である、いわゆる野湯というものは、星空の下で、自然と一体になったような気分を味わうことができました」



村瀬さんの旅の様子は、インスタグラムからも見られます。「旅に関する相談も受け付けています。話を聞きたい人や迷っている人は気軽に連絡してください」と話します  
[https://www.instagram.com/hide\\_onsen\\_packer/](https://www.instagram.com/hide_onsen_packer/)

